



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 ナカバヤシ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7987 URL <https://www.nakabayashi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 湯本 秀昭
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 作田 一成 (TEL) 06-6943-5555
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,379	4.2	108	△25.7	280	△15.5	85	△65.7
2019年3月期第1四半期	13,803	7.0	146	△54.8	331	△38.6	248	△5.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 61百万円(△82.2%) 2019年3月期第1四半期 347百万円(5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	3.32	—
2019年3月期第1四半期	9.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	53,509	25,062	43.2
2019年3月期	55,240	25,317	42.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 23,115百万円 2019年3月期 23,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	10.00	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,500	2.1	900	99.5	1,150	64.1	650	14.8	25.26
通期	65,000	1.5	3,200	53.1	3,600	45.9	2,000	27.7	77.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	28,794,294株	2019年3月期	28,794,294株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,064,747株	2019年3月期	3,064,682株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	25,729,595株	2019年3月期1Q	26,064,421株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱問題、中国経済の減速による世界経済の不確実性や原材料費の高騰など、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、ビジネスプロセスソリューション事業の増収や2019年1月にM&Aにより連結子会社となった株式会社ビックスリーの業績が寄与したことなどから、前年同四半期比4.2%増の143億79百万円となりました。

利益面では原価率が若干低下したものの、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は1億8百万円（前年同四半期比25.7%減）、経常利益は営業利益の減益もあり、2億80百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

また、特別利益は合計で12百万円を計上し、特別損失は投資有価証券評価損17百万円など合計で22百万円を計上いたしました。この結果、法人税等税負担調整後の親会社株主に帰属する四半期純利益は85百万円（前年同四半期比65.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①ビジネスプロセスソリューション事業

「こまったを良かったに」をスローガンに顧客特性に応じた提案、サービスの強化に取り組みました。データプリントサービス部門では官公庁や民間企業からのBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）業務の受注が順調に推移し、シール印刷やラベル紙などの売上高も増加いたしました。また、図書館ソリューション部門では公共図書館の指定管理やアウトソーシング業務の受注に引き続き注力いたしました。なお、前期BPO業務において大口ユーザの受託物件が本格稼働に至らず採算性が低下しておりましたが、回復基調にあり採算性は改善いたしました。

この結果、当事業の売上高は74億15百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業損失は24百万円（前年同四半期営業損失93百万円）となりました。

②コンシューマーコミュニケーション事業

改元を記念し、アルバムは平成の30年分をまとめた編集ページ付きの記念アルバム「平成アルバム」を、ダイアリーは「令和」を表紙にデザインした「ロジカル・ダイアリー2019 令和」を新発売いたしました。また、キャラクターを採用したノート、ダイアリー、紙箱型収納用品の新製品やフィルム付箋などを新発売し拡販に努めました。店頭市場の低迷により、アルバム、ステーショナリー関連商品の売上高は減少いたしました。スマホ、タブレット、PC関連商品などは堅調に推移いたしました。しかし、原材料費の高騰、物流コストの上昇により採算性は低下いたしました。なお、2019年1月にM&Aにより連結子会社となった株式会社ビックスリーの業績が寄与いたしました。

この結果、当事業の売上高は47億12百万円（前年同四半期比6.6%増）、営業利益は93百万円（前年同四半期比51.9%減）となりました。

③オフィスアプライアンス事業

シュレツダは中小型の販売は低調に推移いたしました。出張細断サービスを行う大型シュレツダ搭載のトラック「エコポリスバン」の販売が増加し、売上高は増加いたしました。オフィス家具の売上高は商品の拡充、価格改定などにより堅調に推移いたしました。輸入商品の価格や物流コストの上昇などにより採算性は低下いたしました。病院向けの点滴スタンドやカルテワゴンなどのメディカル商品の販売は堅調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は18億56百万円（前年同四半期比1.9%増）、営業利益は94百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

④エネルギー事業

太陽光発電及び連結子会社の松江バイオマス発電株式会社が営む木質バイオマス発電であり、概ね計画通り稼働いたしました。木質バイオマス発電については法定の定期点検のため稼働日数が減少し売上高は減少いたしました。

この結果、当事業の売上高は3億60百万円（前年同四半期比9.2%減）、営業利益は53百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

⑤その他

兵庫ナカバヤシ株式会社が営む野菜プラント事業及びにんにくファーム事業等であり、売上高は34百万円（前年同四半期比58.4%増）、営業損失は8百万円（前年同四半期営業損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて19億71百万円減少し、250億62百万円となりました。これは商品及び製品が6億21百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が23億10百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億40百万円増加し、284億47百万円となりました。これは建設仮勘定が1億90百万円、投資有価証券が68百万円それぞれ減少しましたが、機械装置及び運搬具が4億90百万円増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて17億30百万円減少し、535億9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13億48百万円減少し、172億11百万円となりました。これは短期借入金が8億86百万円、未払法人税等が3億85百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億28百万円減少し、112億35百万円となりました。これは長期借入金が1億32百万円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて14億76百万円減少し、284億46百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億54百万円減少し、250億62百万円となりました。これは利益剰余金が2億23百万円減少したことなどによります。

純資産が減少した以上に総資産が減少したことから、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は43.2%となり、前連結会計年度末に比べて0.8ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,299	5,680
受取手形及び売掛金	10,997	8,686
商品及び製品	5,605	6,227
仕掛品	622	918
原材料及び貯蔵品	1,447	1,544
その他	2,062	2,007
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	27,033	25,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,811	5,815
機械装置及び運搬具（純額）	5,270	5,761
土地	10,622	10,622
建設仮勘定	672	482
その他（純額）	222	248
有形固定資産合計	22,599	22,930
無形固定資産		
のれん	688	636
その他	330	313
無形固定資産合計	1,019	950
投資その他の資産		
投資有価証券	2,695	2,626
退職給付に係る資産	319	343
繰延税金資産	593	582
その他	982	1,019
貸倒引当金	△4	△5
投資その他の資産合計	4,587	4,566
固定資産合計	28,206	28,447
資産合計	55,240	53,509

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,482	6,318
短期借入金	5,826	4,940
未払金	3,197	3,191
未払費用	427	438
未払法人税等	522	136
賞与引当金	655	446
その他	1,448	1,739
流動負債合計	18,559	17,211
固定負債		
長期借入金	7,105	6,973
退職給付に係る負債	3,390	3,398
繰延税金負債	393	398
その他	474	466
固定負債合計	11,363	11,235
負債合計	29,922	28,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,758	8,758
利益剰余金	8,985	8,761
自己株式	△1,566	△1,566
株主資本合計	22,843	22,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	579	551
繰延ヘッジ損益	16	△20
為替換算調整勘定	84	89
退職給付に係る調整累計額	△128	△124
その他の包括利益累計額合計	552	495
非支配株主持分	1,921	1,947
純資産合計	25,317	25,062
負債純資産合計	55,240	53,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	13,803	14,379
売上原価	10,292	10,710
売上総利益	3,510	3,669
販売費及び一般管理費	3,364	3,560
営業利益	146	108
営業外収益		
受取配当金	58	43
受取保険金	109	80
その他	74	77
営業外収益合計	242	201
営業外費用		
支払利息	16	15
為替差損	11	—
貸与資産諸費用	7	7
その他	20	7
営業外費用合計	56	29
経常利益	331	280
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	130	6
補助金収入	22	—
匿名組合清算益	64	—
特別利益合計	217	12
特別損失		
固定資産処分損	1	5
投資有価証券評価損	—	17
本社建替関連費用	91	—
特別損失合計	93	22
税金等調整前四半期純利益	455	270
法人税、住民税及び事業税	145	94
法人税等調整額	35	52
法人税等合計	181	146
四半期純利益	274	123
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	248	85

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	274	123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△32
繰延ヘッジ損益	61	△37
為替換算調整勘定	△4	4
退職給付に係る調整額	11	4
その他の包括利益合計	73	△61
四半期包括利益	347	61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323	28
非支配株主に係る四半期包括利益	23	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。